

新まち通信

～明日のために～

10代のカリスマと呼ばれ、人気少女漫画家であり小説家の折原みとさんのご協力を頂き、夏休み特別企画「折原みと原画展」を役場ロビーで開催しました。

折原さんは富士見高原に別荘をお持ちで、2004年にドッグカフェ「八ヶ岳わんこ物語」をオープンし、実業家としてもデビューされました。

これまで数々の夢を実現してこられた折原さんですが、将来の夢は富士見町を舞台にした小説「永遠の夏休み」を映画化することだそうです。

現在上映中の映画「星になった少年」を漫画化したことでも話題になっていますが、ご自身が原作を読み漫画化の企画を編集社に持ち込まれたそうです。

ロビー展開催中は、大変多くの皆様にお越しいただき、窓口延長日には仕事帰りの女性が足を運んでくださるなど、皆さんやわらかな雰囲気の中に見入っていました。

また、「折原さんの詩が中学一年生の国語の教科書に載っていますよ。タイトルは・・・描きたい・・・です。」というメールをいただくなど、改めて折原さんの活躍ぶりに驚かされました。

新しいまちづくり係は、住民の皆様が気軽に立ち寄ることのできる役場づくりを目指し、引続きロビーの活用についても研究してまいります。詳しくは、新しいまちづくり係のホームページ「新まち通信」をご覧ください!このコーナーに関する“ご意見ご感想”をお寄せください。

【お問い合わせ】

総務課新しいまちづくり係

TEL62-9328 (有)9328 FAX62-4481

E-mail: shinmachi@town.fujimi.nagano.jp



ふるさとのみなさんへ 東都高原富士見会だより



小池 和通
東京都練馬区
(立沢出身)

昭和39年3月、就職のため大阪へ向かいました。東洋の魔女(東京オリピック)の戦いは、神戸の寮でテレビ観戦したものです。

翌年東京に移り、以来39年間、45年相当分の身濃い勤務(と、本人が思っているだけです)を経て、3年前に早期退職しました。

現在は、自由気ままなボランティアらしきことをしております。以前から入会していた写真クラブで主宰者からの要請もあり、会員(多分、平均年齢70歳超)の撮影会の計画・当日の案内・撮影アドバイス等しております。月2〜3回受け持っております。

りますので、ロケハン共で5〜6回撮影地に足を運ぶこととなります。

また個人的には、資金の許す範囲で国内に限定し、各地の撮影に出向いております。撮影場所は植物園、渓谷、寺院等バラエティに富んだものにしていきます。撮影会に参加する方は様々な経歴の方がおり、撮影に臨む姿勢もまた、様々です。うまい写真を撮りたい方が大半ですが、終了後の仲間との一杯が第一目的の方も、もちろんあります。

最後になりましたが、本年は町制50周年とのこと、お祝いと共に益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。